

2019年4月22日

肺血管のリモデリングの有無が麻酔管理に与える影響の検討

◆研究の目的と概要◆

経皮的僧帽弁形成術（MitraClip）中の肺動脈圧変化について予測できる因子を調べることで、手術中、術後の血行動態安定が得られ、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2018年4月から、2019年5月までの間に、MitraClipを施行された方。

◆研究に使用される情報・試料◆

年齢、性別、身長、体重、BMI、STSスコア、病歴、baseの疾患、心電図、呼吸機能検査、術前NYHA、術前内服薬、CRTD有無、術前使用注射薬、術前、術後経胸壁心臓超音波検査結果、術前、術中Clip前後の経食道心臓超音波検査結果、麻酔記録

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録などからの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

麻酔科 研究責任者 皆川陽子

E-mail： kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明